


事業番号	15 07 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課
		実施期間	S58 ~	E-mail	kokoro@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	4-4 生命・生活リスクの軽減		
	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり			

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・暴力・不登校などの未然防止、早期発見、早期対応のための支援体制の充実 不登校児童生徒の学びを保障する仕組みの構築 いじめや不登校などの悩みについて子どもや保護者等が安心して相談できる、相談体制の充実 性被害防止に関する指導・情報モラル教育による、子どもたちの「危険を察知し回避する力」の育成 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー(SC)による心理面の支援 スクールソーシャルワーカー(SSW)による福祉面の支援 不登校児童生徒の学びを継続する仕組みづくりの検討 子どもの自殺予防のためのワークショップ等の実施 24時間相談電話やLINEによる相談対応など 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒は増加しており、それぞれのニーズに合った支援を行う必要がある。そのため、学校以外の場でも学びが継続できる仕組みを検討する必要がある。 不登校の増加や長期化、またコロナ禍における貧困・家庭環境の悪化に対応するため、スクールカウンセラーによる予防的取り組みや、スクールソーシャルワーカーによる市町村の福祉部局との連携が必要。 インターネット利用の低年齢化が進み、依存傾向がみられることから、学校と保護者が連携した予防的取組が必要。ICTの活用状況について、調査と啓発が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援センターが中心となり、民間団体等との連携も含め、子どもたちの学びを継続するための仕組みを検討。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、予防的取組・早期発見の取組や市町村福祉部局と連携した支援を実施。 民間団体と連携した実態調査を行い、その結果に基づいた保護者への啓発や教職員向け研修会を実施。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒への支援の充実を検討 不登校児童生徒が、教室以外でも学習できる仕組みの検討と全県への普及 SCによる予防的・早期発見の取組を実施 小小学4年生と中学1年生に対し、学年会への出席や全員面接を実施 コロナ禍で進学等進路に不安を持つ児童生徒への支援 SSWによる児童生徒を取り巻く環境等の改善に向けた総合的支援 市教育委員会への派遣を拡充し地域の福祉部局と連携した支援体制を構築 LINEによる相談体制の充実 年間を通じて相談できる体制の継続、期間限定で休日に開設 	
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに関する取組	<p>【共生社会づくり】子どもの自殺対策や24時間相談電話・LINE相談窓口の設置・子どもの性被害防止キャラバン隊の学校への派遣</p> <p>【学びの県づくり】不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業</p>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R4年度	
			R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度	R3年度	R4年度		
1	SSWを介した学校と地域関係機関との連携ケース	件	2,113	↗	2,269	↗	2,300		2,400		要求 390,806	
2	SSWの介入により一定の改善が図られたケース	%	54.4	↗	55.2	↗	56.0		57.0		要求 390,806 予算案	
3											要求 244,321 予算案	
4												
5												
								前年度繰越				
								当初予算		362,114	385,795	
								補正予算		-464		
								合計(A)		361,650	385,795	
								うち一般財源		238,039	254,504	
								決算額(B)		327,007		
								職員数(人)		13.0	13.0	
設定理由	<p>1,2 いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入し、総合的な支援を実施することにより児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果目標に設定。</p> <p>1 前年度(令和2年度)比5%増を目標として設定した。 2 困難な継続ケースが増加する中で前年(令和2年度)以上を目標として設定した。</p>											
目標値												

事業番号 15 07 01 事業改善シート (令和4年度実施事業分) ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課
-----	-----------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	生徒指導推進事業費		343,048 千円	364,385 千円	要求 予算案 366,420 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	いじめ・不登校等総合対策	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題対策連絡協議会 2回 ・学校支援チーム連絡会議 ・不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業 教育支援センターの機能拡充(4市町でモデル実施) 有識者等が不登校に係る課題を協議(年3回) 		
2	子どもの自殺対策の推進	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象としたコミュニケーション能力向上研修等 40回 ・教員研修会 2回(全ての中学校・県立高校の教員が参加) ・高校生・教職員・保護者を対象とした相談力向上研修 23校 		
3	スクールカウンセラーによる心の支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての公立小・中学校へ配置、県立高校及び県立特別支援学校へ派遣 ・長期欠席している児童生徒への訪問支援 ・緊急派遣の実施 		
4	スクールソーシャルワーカーによる福祉的支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・教育事務所に配置するとともに市教育委員会に派遣し、児童生徒の問題の背景にある家庭的な問題の改善に向けた支援を実施 		

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	学校生活相談体制充実事業費		17,442 千円	19,789 千円	要求 予算案 22,765 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	24時間相談電話	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーダイヤルの24時間相談窓口を開設 ・臨床心理士又は公認心理師1名を配置、夜間休日は民間に委託 		
2	LINE相談「ひとりで悩まないで@長野」	委託	期間限定で休日にも開設し、年間を通じ週1回以上開設		

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	性被害防止に向けた指導充実事業費		1,624 千円	1,621 千円	要求 予算案 1,621 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	子どもの性被害防止教育キャラバン隊の学校派遣	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを介した性被害を防止する専門家を学校に派遣 ・教職員向けの性被害防止のための指導方法等研修会 4回 		